

今回は、11月21日に実施した中学部の全校授業研究会について紹介します。



<中学部1年 生活単元学習「もっと知りたい、横手の○○」>

本時の目標 ・観光客に伝わりやすい写真や文字の配置を考え、スライド資料の作成に取り組む。

授業者からの授業説明

中学部の中でも大きな学習である「総合的な学習の時間」に「横手の雪まつり」のかまくらにつながる単元を設定した。自分たちでかまくらに関して知りたいことを見付けたり、伝えたいことを決めたりする活動をとおして、生徒が受け身にならないように学習を進めてきた。

前時にスライド資料のレイアウトを作る学習に進んだので、本時はレイアウトをもとに実際にスライドを作る活動を行った。

授業研究会での主な協議内容と改善案

参観者は、以下の視点で授業を参観しました。

中学部の「目指す生徒の姿」「課題を発見する姿」に着目した授業改善の観点

- ①学習のゴールが分かり、自ら学ぼうとしたり、友達と共に学びを積み重ねたりしているか。
- ②次の学びや自分たちの生活に関連付けたり、学びの過程を振り返ったりしているか。

※グループ協議より (○成果 ●課題)

【Fグループ】

- モニターに出たイラストや教師の言葉をヒントに、積極的に発言する姿が見られた。
- 課題や取り組むことが分かり、集中して自分のスライドを作成していた。
- T1からT4まで、生徒に掛ける言葉に統一感があった。支援が精選されていた。
- 自己評価できるように、作成したスライドを見合う時間があるとよかった。また、「分かりやすさ」の明確な基準があるとよいのではないか。
- 終末の部分。振り返りと次時の活動内容を考える場面が混ざっているように感じた。

【Hグループ】

- 前時に学んだことを生徒が自分の言葉で発表したり、まとめて使いたい言葉が発表の段階で生徒たちから出たりしていた。
- 教師が生徒の言葉をよく聞いていて、生徒の言葉からまとめをしたり、生徒の言葉を全体で共有したりしていた。
- 「分かりやすい」の判断基準が難しい。「分かりやすいスライド」と「分かりにくいスライド」の見本を準備したり、生徒同士でスライドを見合う時間を作ったりして、「分かりやすい」の規準が統一できるとよいのでは。
- めあてとまとめのつながり。「観光客が分かりやすいスライドのポイントを考えよう」など課題として提示した方が、本時のまとめとつながるのではないか。

□生徒たちが主体的に学習に取り組むために

主体的な学びにつながるためには、単元をとおしてどんな学習をするのかが分かる、今やっていることが何につながるのかゴールが分かる、生徒自身が興味をもってやってみたいと思える、必要感を感じていることが大切。本時の授業で生徒たちは、自分のやるべきことがよく分かって、何のためにスライドを作っているのかが分かっていた。かまくらのおもてなしの中で、観光客の方たちに自分たちが調べたことを分かりやすく伝えたいという生徒たちがイメージできるゴールに向けて、本時の学習にも必要感をもって取り組んでいた。

□生徒の思いや考えを生かす教師の支援について

本時のめあて、まとめ、次時の活動内容、スライドを分かりやすくするためのポイントを考えるときに、先生方は生徒たちの言葉を生かしていた。生徒の言葉を引き出すための発問や引き出された言葉を生かして文をつくるなど、生徒たちが主体的になって取り組める工夫がされていた。スライドを分かりやすくするポイントについては、生徒たちに気付いてほしい、考えてほしいという教師の願いや思いがあった。本時で出たポイントは、教師と生徒たちが一緒に学んだこととして共有していければよいと思った。

□生徒をつなぐ支援について

本時はグループでの活動だった。友達と相談する、意見を伝えたり聞いたりするなどの場面が設定されていた。生徒から教師にスライド作りに関する質問があったときに「○○さんに聞いてみたら」と仲立ちしたり、区切りのよいところでグループでスライドを見合って意見を求めるように勧めたり、グループで相談するように返したりしていた。生徒同士をつなぐチャンスは授業の中にたくさんあるが、意識していないと見逃してしまうことがある。意図のある支援が積み重ねられていた。

□振り返りについて

今年度中学部では、次の時間につながる振り返りをするために視点を絞って振り返るということに取り組んでいる。本時では「次回のスライド作りではどんな工夫をしたいか」という視点を提示することで、友達の工夫した点を参考にしながら「次は○○したい」と振り返っていた。授業全体のまとめで終わらず、まとめたことを個に返して次にやってみたいことを考えていた。次の時間に取り組むことを確認して目に見える形で残しておくことで、生徒たちの中で授業がつながっているということや期待感、見通しにつながっていた。

外部参観者より ※抜粋

- ・温かな関係性の中で生徒たちが安心して授業をしている様子が感じられ、参加している側も温かな気持ちになった。スライド資料の分かりやすいポイントを授業の最初に出さなかったのは、今までのポイントだけでなく、さらに他のポイントにも気付いてほしいと言う先生の意図があったからだと思った。いろいろ学ぶことの多い授業だった。
- ・タブレットの使い方のルールが成立していた。ルールを守れるところを土台に、授業での活用が広がると思う。

